

# 「子どもにとっての楽しいってなんだろう？」 ～ 教師の思いと子どもの姿のズレを見つめながら ～

今大会は、障がい児体育プロジェクトが中心になって開催します。テーマの「子どもにとって楽しい」は一言に言うのは簡単ですが、子どもの姿を丁寧に読み取り、自分の価値観や教材観を問い直していくことが必要です。目の前の子もたちの姿から作っていく実践を通して、議論を深めていけたらと思います。職場のお仲間をお誘いのうえ、ぜひご参加ください。ともに語り合い、学び合いましょう！

## 実践報告

神戸大学特別支援学校の下木先生に、運動会での演技づくりの実践を報告してもらいます。東北の民舞「虎舞」とファンパールドダンスを元にした身体表現の取り組みです。初めての演技担当として子どもにとっての手応えのある動きや道具を悩みながらも模索した経験を語っていただきます。報告の後には、実際の道具も使いながら、実技演習も行います。

## 講師紹介

赤木先生は、発達心理学・特別支援教育学を専門とし、知的障害や自閉症スペクトラムのある子どもの発達理解と教育的支援に関する研究・実践に長年取り組まれてきました。「子どもの行動の背景にある“その子なりの理屈”に目を向ける」という視点から、教育のあり方を問い直す発信を続けておられます。今回の講演では、実践の中で子どもたちの内面をどのように読み取り理解するのか、発達心理学の視点から語っていただきます。

著書『目からウロコ！ 驚愕と共感の自閉症スペクトラム入門』（全障研出版部）  
『「気になる子」と言わない保育』（ひとなる書房）  
『0123 発達と保育』（ミネルヴァ書房）等 多数

期日 2026年6月20日（土）

会場 神大附属特別支援学校（明石市大久保町大窪 2752-4）

アクセス：車⇒第二神明道路「大久保IC」から約10分  
※明石サービスエリアのパーキングから徒歩10分程度  
車以外⇒JR「大久保駅」から神姫バス 高丘循環

開会方式：対面の実施

参加費：1000円（学生：無料）



## 【日程及び実践報告について】

|            | 12:30 | 13:00 | 13:10 | 14:10 | 14:20 | 15:20 | 15:30 | 17:00 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 20日<br>(土) |       | 受付    | 開会    | 実践報告  | 休憩    | 実技    | 休憩    | 講演    |

○講演：赤木和重（神戸大学大学院人間発達環境学研究科、神戸大学国際人間科学部）

○実践報告 「子どもたちの姿から出発する運動会演技づくり～虎舞・ファンパールドダンスを題材に～」  
報告者：下木なつみ（神大附属特別支援学校）

問い合わせ：小松 北斗 携帯：080-9476-9888  
mail：hokuhoku925@yahoo.co.jp